

刊夕 日一廿月十

常磐毎日新聞

定価 一部会費 月金五拾圓 郵費五圓
廣告料 五號十二字 日行金五拾圓
日曜祭日の日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

美友會展寸感

猪狩 登三男

神嘗祭の朝、パットをふかしながら、配達された新聞をひろげると、中から活動のピラといつしよに美友會の廣告が出た。十七、十八、十九と、三日間四丁目のマルトモホールで展覽會をやるといふ。

僕は毎年この地方唯一の繪畫展をたのしみにして、靜かに鑑賞してゐるのである。そこで今日も又、僕は險惡な空模様をおかして、はるばる田圃道を歩いて會場へ出かけていった。

ノート

十圓紙幣を八疊の座敷一杯敷き詰めればその金額は一萬一千三百圓程になる

てゐることであらうが、兎に角、出品諸氏の作品に對して甚だお氣の毒なことだ。

ある。或ものはピカピカひかり、或るものは畫面に鼻をつけてもわからぬといふふうな極端なものさへあるのである。

この点、もう少ししつかりしたギャラリーが是非ほしいと思ふ。しかし、今これは別として、先づ會場を一巡して頭に残つたものは何か。

僕はここで、出來得る限り、僕の感じ方を素直に云つておかうと思ふ。さうする事は、出品諸氏に對する禮儀でもあり、誠實でもあらうと考へるからである。

そこで、僕は正直に「一体に生ぬるい」といひたいのである。しかしこれは決して不眞面目だといふ意にはならない。われ／＼がけんめい努力してゐるなら、しかも、それが客觀的に「生氣」が缺けてみえるといふこともあり得ることだ。

殊にある種の繪など、洵に見るに堪えず、その一事によつてこの會が如何なるものかといふ目安に、反對な拍車をかけてゐるやうな間拔けた失敗もすぐに發見されよう。

だから、この小さなグループを更に單純化した、いはゆる小ぢんまりとしたマッスにしたといふ意慾に

もかられないではなかつた。

ともあれ、この會でのヒラメキはやはり高瀬勝男氏であらう。他人が何と云はうと、独自の境地をひらきいかにも靜かに、しかし、

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁 若芽 小付
松茸の佃煮
【晝】栗の御飯 清汁 はんぺん もみり
【晚】土びんむし まつたけ 海老 栗 三つ葉 焼豆腐かゝ煮

燃えるやうな熱と愛とをもつて、常にその實録を示してゐる氏の姿には、何となく頭の下るものを感じる。また、さういふ態度が作品の上に消然として來るものは勿論であらう。「水パイプのある遺物」「燈下秋好」「樹間噴水」。

次にならば柴田善登氏の諸作。点數としても可成り多く、それだけにまた勉強に怠りないと思はれるが、これらの作品を通して氏の態度を見ると、やはり氣の毒さを感じられた。つまり氏の持つてゐる穩健なヴェリエームが、こゝではやせこましいことだ。これは當學生時代(「分譲地風景」と描いた時代)の自由な

氏の生活と現在のそれとの間に於ける必然の成りゆきにはあるまいかと、先づはそれを憂ひ、且つそれには同情を禁じ得なかつたことである。

本店開本日

素晴らしい味覺の殿堂です
御散策、シネマのお歸りに是非!

平三(警察署通り)
今成食堂

秋深し!!!

旅行に!!!ピクニックに!!!散策に!!!
今こそカメラ、絶好のシーズン
素人に良く撮れるカメラとして
絶大の好評を博して居る

平三
三井タクシー
電話六八五番

カメラ部

平三前 いづみや玩具店
MSカメラ
コダック型
一圖より:
十五圓迄各種

内科科一般

金成醫院

平鎌田町(電三五八)

かまぼこ製造

お結団

平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚

造花

花環 神佛葬具
盛花 新橋
久壽玉 本
御弔燈 屋
寶明燈 靈柩自動車
三六一

耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

山内醫院

病室完備
自炊便有
醫學士 山内亨 吉

四倉市場閉場に

最高々値を出現

今度は仲買人相手に

少量の直取引に血眼

昨日晩秋蠶取引の最後を飾つた四倉繭市場は益々強氣を見せる糸高の好影響を受けて本年晩秋蠶の最高記録を現出し最高實に七圓二十九銭に及んで養蠶家連を驚倒せしめたが當日の出廻

一躍膨張の

養蠶家の懐中

最後の取引で一躍型破りの高値を見せた四倉繭市場の總決算を觀ると總取引實數が一萬二千五百百、代金が七萬五千六百四十一圓八十六銭で昨年の取引高一萬四千六百三十三圓に比し二千五百五十六圓三十分を減じたが代金は昨年の三萬七千七百二十四圓十四銭より

九年度	十年度
最高 三、三〇	七、二九
最低 一、五〇	四、五〇
平均 二、六八	六、三〇

冷害調査成る

三坂村のみで

實に三百町歩

郡下の冷害稲作に就いては郡駐在の吉成技手が各町村の實際を詳細に調査取纏中であつたが廿一日大ままとまり近く縣に報告するこ

郡内最悪の冷害に泣く川前村に去る十八日午後二時より四時頃まで一錢銅貨大の大粒降雹あり相當被害ある見込で現在調査中であるが同村高部地内は十五町歩に四寸餘地上に積つて冷害時の降雪の如き慘狀を呈した

一錢銅貨大のヒヨウ

四寸餘積る

冷害の川前村

廢馬を決定 郡内種馬検査は過渡平町並に上遠野村に於いて行はれたが新

青年學校教練指導

警中平商配屬將校委囑

警中平商兩配屬將校は此程左記青年學校の指導を委囑された

- △警中配屬將校(大井川 中佐) 平 四倉 夏井 高久 豊間 神谷 草野 大浦 大野 平窪 小川 川前 三坂 澤渡
- △平商配屬將校(佐藤中尉) 小名濱 江名 植田 勿來 泉 渡邊 山田 錦 上遠野 入遠野 川部 田人 飯野 鹿島 赤井 永戸 湯本 箕輪

郡下學童

競技

郡下小學校兒童競技會は昨日午前八時半より警中グラウンドで舉行、選抜兒童五百餘名が秋空一碧の絶好のコンディションに恵まれ七つの大會記録をあげ午後二時審判長の講評あつて閉會

警炭体育場

落成祝賀式

賀式は昨日午前八時より木の香新しい武道場で舉行演劇副所長の開會の辭、國歌合唱あつて直ちに演武に入り橋本教士の神道流居合術及び鷹崎六段の掛橋本五段と岡田五段の投擲の型等の實演に次ぎ炭礦青年團、警中、平商選手の柔剣道試合あり午後四時盛況裡に閉會した

ちよ一八米五〇(尋六男) 平一吉江一行二三米二四(高一女)湯本小野瀨コキ二三米〇七(高一男)川部小川正隆二五米三八(高二女)平二長谷川キヲ二二米三一(高一男)高久二七米三〇

平驛軟式

野球大會

平驛從業員の第七回軟式野球大會は昨日午前八時より平商平第一兩球場で舉行されたが戦績左の如く前回の覇者平驛TSチームが連勝し優勝旗を授與された

古河礦業

覇權を握る

既報古河炭礦本社及び好間礦業所、原町紡績の軟式リグ戦は昨日午前八時より小館球場で行はれたが好間、礦業チームは五對二の成績で昨年度優勝チーム原町紡績を破り覇權を獲得した、戦績左の如くである

尼子勝つ

チームの軟式野球戦は昨日二時より平第三校で舉行十六對五で尼子勝つ

縣社境内に建つ

磐城 山崎翁の碑

德望を思慕する町農會

明日地鎮祭を執行

既報—磐城聖人と推奨せられる山崎與三郎氏が地方農業開發に貢献した功績を永久に傳へる爲め町農會が工費五百圓を投じて子鐵倉神社境内に建設する同氏の頌徳碑は此程一切の準備が完了し明日午前十時から山部神官に依つて嚴肅に地鎮祭を執行直ちに着手する筈であるが十一月三日の明治節を以て舉行される除幕式には諸橋學務長、大島縣農會會長及び關係者二百餘名が參列して盛大裡に山崎氏の徳を顯彰すると

平商から

十一點の入選

全國に稀れな好成绩

平商業學校商業美術部では既報の如く東京府下商業學校聯合分會主催の全國商業美術展覽會へ教諭齋藤久基氏指導の計に力作を出品したが今廿一日左記十一點が入選の旨發表された、因に同展覽會は審査員は和田三造、杉浦非水氏等何れも權威ある一流の大家揃へで一校から十一點の入選は全國に稀な好成绩である

- △第一部 ポスター(ライオンキ) 三年會田長太郎(アテナ萬年筆)五年神谷忠男(虎屋の菓子)五年同君(森永ミルクチョコ)
- △簡保感想文 平郵便代表優秀作 局では簡易保險二十週年記念として同局管内小學校児童より簡易保險感想文を募集中であつたが平町各校より代表

内郷家政

記念作品展

内郷村立家政女學校では來る廿六、七兩日同校創立十週年記念生徒作品展覽會を催すと

無駄なし週間

工場の難局打開

平署は來る廿七日より五日間縣工場協會と協力二三種の工業は稍活氣を呈せるも概して不況の域を脱せぬ工場からモットウとして無駄なし週間を催すことになり左記の如き印刷物を管内工場に配付して主旨の徹底を圖ることになつた

- △ナニニ少し位が山となり海となる
- △廢物と名付ける前に利用法
- △食は無駄から
- △籠球指導講習 磐崎第二小學校では今廿一日午前十時より午後四時まで校庭でバスケットボール指導講習會を開いたが平第一校より井上、根本兩指導が講師として出席した

明日のラジオ

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇「運動會」東京放送
- 童謡研究會
- 後六、二五 基礎英語講座
- 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「恩師」
- トランス先生を語る」鹿子木孟郎
- 後八、〇〇 お笑ひ道中

組合旗樹立

平桶職組合

平桶製造業組合は既記の如く今宮政衛、松本與三郎兩君が發起人となり今回組合旗を新調し本廿一日午前十時縣社子鐵倉神社境内に組合長三富末松氏外組合員卅五名參集樹立式を舉行した

九品寺に賊

悠々と飯を平げて...

相馬郡大野村大字大坪生れ住所不定松岡清實(二)は昨廿一日午後十時頃平町仲間町九品寺の勝手口から忍入り鱈腹飯を詰め込んだ上オートバ―靴等を窃取して逃走關上を徘徊中平署に捕はる

平職業紹介所報告

人を求める方

- △三助 五十五才迄 住込
- △五十六圓
- △給仕 十五才迄 高卒
- △日給卅錢
- △女中 廿五才迄二人 尋
- △卒 給料五十六圓
- △食堂女中 廿三才 尋卒
- △月六圓
- △旅館女中 卅才迄 尋卒
- △給料面談
- △農夫 卅才迄 日給十二圓
- △漁業雜役 卅才迄三人
- △給料十圓前後
- △給料八圓前後
- △給料十圓前後二人 尋卒
- △豆腐賣子 四十才迄 尋
- △卒 給料分合
- △家具職工 四十才迄 尋
- △卒 日給一圓
- △官署人夫 五十才迄 日

糸姫達運動會

既報片倉製糸會社恒例の秋季陸上運動會は來る廿七日午前八時より平第三小學校校庭で舉行されるが糸姫達のユ一モア満点の競技と餘興の假裝行列等に盛況を豫想されてゐる

小名濱の遊興稅

小名濱料理屋組合は昨廿日幹部會を開き今回賦課された遊興稅四百四十八圓二十

明日の部

- 「大阪の巻」林田五郎 柳家雪枝
- 後八、三〇 管絃樂交響曲
- ジュビター新交響樂團
- 後九、〇〇 浪芳節「野狐三次」浪華野々友
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

前六、三〇 基礎下講

- 座 武内大造
- 前七、〇〇 朝の修養「報徳講話」佐々木信太郎
- 前九、〇〇 衛生メモ
- 前九、〇〇 幼兒の時間
- お話「強い日本軍人」安倍季雄
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「信仰と生活」實方清
- 後一〇、五〇 マンドリン獨奏と五重奏 クラヴドメニカ
- 後二、〇〇 小學生の時間
- 尋三國語朗讀とお話「磁石遊び」本間清人、東京富士見小學兒童

回職を求むる方

- △事務員 廿四才 甲種商
- △外交易員 廿六才 高卒
- △同 卅九才 高卒
- △同 卅一才 高卒
- △事務員 廿三才 中卒
- △配達人 廿五才 高卒
- △中等教員 廿八才 女大
- △卒
- △給仕 十八才 高卒
- △自動車助手 廿歲 尋卒
- △同 十七才 高一女修
- △機械仕上工 廿三才 高
- △硝子商店員 廿二才 高
- △卒
- △店員 十九才 甲種商卒
- △雜役 廿六才 尋四修
- △鑄物工 廿五才 高卒
- △ベルト職工 十七才 高

井坂醫院

平町 田町 電話五五九番



明治太平記

(無名) (無名)

(作) 寺島紅史

第二百五十五回

運命の星 (三)

あくる日、品川の丁場へやつていつて、工事役人に見え、大志賀の身柄を借りて、枕木のかげに連れてきた芳丸は、

「大志賀の旦那、ぼや／＼してゐる場合ぢやありませんか」と、だしぬけにいつた。

「何が、ぼや／＼なんぢや……」

頬かむりをした、淺黄木綿の尻切れ袴天の、素足に草鞋ばきの、時勢の敗者は、かろく芳三郎を睨むやうにした。

「おとわさんが、今日明日にも死なないんですぞ」

「死ぬるといふのか」

「もう骨と皮ばかり、可哀想でならぬえ」

「しかたがないさ。宿命ぢや」

「え！あなた、そんな薄情なことをいふんですか」

「薄情なものもあるものか。運命がさうさせるのぢや」

「いけねえ、そんなんぢや……ね、大志賀の旦那」



「なんぢや」

「おとわさんは、あなたのために死ぬやうなものですぞ」

「なに！おれのために……」

「……」

「おとわさんはあなたを、思ひこがれて死んでいくのですぞ」

「そ、そのやうにも申して居つたか、あの女子は……」

大志賀は、感動する胸のあたりかみをおさへながら

「いや、そのことぢやありません。おとわさんは、斯ういふてますぞ……あたしが居るために、あのひとが、助太刀の責任を感じて、官員さんにもならず、日蔭者となつてをられるのだ。あたしが死んでしまへばあの一ともし身出世が出来るとさう云つてますぞ」

「……」

「それどころか、聞いて下さい。一日もはやく死んであの人が立身出世をなさるのを、草葉のかけから祈つてゐると……さういふ可愛いことを、おとわさんはいふんですよ」

「……」

「おとわさんはあなたを、思ひこがれて死んでいくのですぞ」

「そ、そのやうにも申して居つたか、あの女子は……」

大志賀は、感動する胸のあたりかみをおさへながら

「……」

「おとわさんはあなたを、思ひこがれて死んでいくのですぞ」

「そ、そのやうにも申して居つたか、あの女子は……」

大志賀は、感動する胸のあたりかみをおさへながら

「おれは……」

大志賀は、何か云はうとしてそのまゝ口ごもつた。

「おとわさんに、それを約束して、よろこんで死ぬるやうにしてやつて下さい」

「おれはおとわさんにたのまれなくも、ウエルズをやつつけろ」

「え？」

「大限の八太郎に對する意固地だ。ウエルズを討つてみせる」

「では、あなたは、ウエルズの居所を知つてますか」

「……」

「知らぬ」

「ウエルズは、大限さんのお世話で、烏森の濱の家に居るさうですよ」

「誰が云ふた」

「おとわさんが、それを知つてます」

「……」

「おとわさんはあなたを、思ひこがれて死んでいくのですぞ」

「そ、そのやうにも申して居つたか、あの女子は……」

大志賀は、感動する胸のあたりかみをおさへながら

冬の通學服賣出し

中学生用 六号 四〇〇〇
國防色 七号 四二〇〇

黒小倉服 A六号 三〇五〇ヨリ
特A六号 三〇八〇ヨリ

別注文 國防色 五〇五〇均一
特A黒小倉 六〇二〇均一

平電 392 店服洋やかふ

木村病院
平町新川町十九
電話一六四番

鼻耳科専門

大和田醫院
平町 南町一六(電話一七〇番)

産婦人科 花柳病科

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

花柳病科 外科専門

木村外科醫院
自炊入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋

内科一般

難波睦
醫學博士
看護婦募集
平町大町新川端
電話五〇〇二